

第9回日本CKD-MBD学会 学術集会・総会 プログラム

3月8日(土) 第1会場(メインホールCD)

14:30~14:40

開会式

14:40~15:20

一般講演1

栄養と透析患者のリスク管理

座長 徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床食管理学分野 竹谷 豊
東京慈恵会医科大学内科学講座(腎臓・高血圧内科) 大城戸一郎

O-1-1 総合栄養指標であるNRI-JHスコアは維持血液透析患者の新規骨折リスク高値と関連する ～Qコホート研究～

○荒瀬 北斗¹、山田 俊輔²、谷口 正智³、鶴屋 和彦⁴、中野 敏昭⁵

¹国立病院機構 福岡東医療センター 腎臓内科、²九州大学病院 腎高血圧脳血管内科、³福岡腎臓内科クリニック、
⁴奈良県立医科大学 腎臓内科学、⁵九州大学病院 腎疾患治療部

O-1-2 維持血液透析患者におけるスタチンと血清リン濃度の心血管イベントへの関連

○齋藤 友広¹、溝渕 正英²、山川 茜³、鍵村 達夫³、緒方 浩顕^{4,5}、深川 雅史⁶、平方 秀樹⁷、秋澤 忠男¹

¹昭和大学医学部 内科学講座 腎臓内科学部門、²昭和大学藤が丘病院 内科(腎臓)、
³公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構医療イノベーション推進センター、
⁴昭和大学横浜市北部病院 内科(腎臓)、⁵昭和大学医学部 医学教育学講座、⁶東海大学医学部 腎内分泌代謝内科、
⁷福岡腎臓内科クリニック

O-1-3 アメジニウムメチル硫酸塩またはドロキシドパの内服は血液透析による血清無機リン低下率と 関連する

○千田 将光^{1,2}、藤井 直彦²、濱野 高行³

¹聖蹟桜ヶ丘じんクリニック、²兵庫県立西宮病院 腎臓内科、³名古屋市立大学大学院医学研究科 腎臓内科

O-1-4 血液透析患者における血清25(OH)Dと骨代謝との関連性：東海透析コホート研究

○島村 典佑¹、中川 洋佑¹、高橋 浩雄^{2,3}、高橋 裕一郎³、兵藤 透⁴、飛田 美穂⁴、須賀 孝夫⁵、角田 隆俊⁶、
駒場 大峰^{1,7}

¹東海大学 医学部 腎内分泌代謝内科、²東海大学医学部付属大磯病院 腎糖尿病内科、³腎健クリニック、
⁴(医)倉田会、⁵(医)松和会、⁶東海大学医学部付属八王子病院 腎内分泌代謝内科、⁷東海大学 総合医学研究所

15:30~17:00

シンポジウム1

テナパノル塩酸塩の基礎と臨床

座長 医療法人社団日高会 日高病院 腎臓病治療センター 永野 伸郎
福岡腎臓内科クリニック腎臓内科 谷口 正智

SY-1-1 タイトジャンクションによる上皮透過性制御の分子機構

○古瀬 幹夫^{1,2}

¹生理学研究所 生体機能調節研究領域、²総合研究大学院大学 生理科学コース

SY-1-2 血液透析施行中の高リン血症患者におけるテナパノル塩酸塩の服薬負荷軽減：患者背景別検討

○永野 伸郎¹、徳永 紳²、浅田 真治²、深川 雅史³、秋澤 忠男⁴

¹医療法人社団日高会 日高病院 腎臓病治療センター、²協和キリン株式会社、³東海大学 医学部 腎内分泌代謝内科、⁴昭和大学 医学部 内科学講座 腎臓内科学部門

SY-1-3 血液透析施行中の高リン血症患者におけるテナパノル塩酸塩の排便に対する影響：患者背景別検討

○谷口 正智¹、徳永 紳²、浅田 真治²、深川 雅史³、秋澤 忠男⁴

¹医療法人医心会 福岡腎臓内科クリニック、²協和キリン株式会社、³東海大学 医学部 腎内分泌代謝内科、⁴昭和大学 医学部 内科学講座 腎臓内科学部門

17:10~18:00

イブニングセミナー1

リン代謝異常の臨床的意義と多面的アプローチ

座長 大阪公立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 准教授 今西 康雄

演者 福岡大学医学部 内分泌・糖尿病内科学講座 准教授 高士 祐一

**低リン血症性くる病・骨軟化症の病態と治療：
内科医が診る骨疾患**

演者 東海大学医学部 腎内分泌代謝内科学 教授 駒場 大峰

高リン血症の管理 Update

協和キリン株式会社

3月8日(土) 第2会場(メインホール AB)

14:40~15:20

一般講演2

PTHと骨代謝の病態と治療

座長 島根大学医学部内科学講座内科学第一(内分泌代謝内科・血液内科) 矢野 彰三
東海大学医学部 内科学系 腎内分泌代謝内科学 中川 洋佑

O-2-1 当院におけるオーバーナイト透析のMBD治療の現況

○坂本 和也、山口 裕二
医療法人光穂会 森のクリニック

O-2-2 維持血液透析患者におけるiPTHの変動と臨床アウトカムへの関連の検討

○加藤 憲¹、吉田 輝龍²、齋藤 友広¹、加藤 徳介³、溝渕 正英⁴、小岩 文彦⁴、緒方 浩顕²、本田 浩一¹
¹昭和大学 医学部内科学講座腎臓内科学部門、²昭和大学横浜市北部病院 内科、³埼玉クリニック、
⁴昭和大学藤が丘病院 内科(腎臓)

O-2-3 二次性副甲状腺機能亢進症における副甲状腺体積と治療抵抗性

○加藤 一彦¹、中島 章雄¹、森下 将充²、大城戸 一郎¹、横尾 隆¹
¹東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科、²医療法人社団 蒼紫会 森下記念病院

O-2-4 保存期慢性腎臓病(CKD)患者は大腿骨骨折リスクに晒されている —日本の医療情報データベースを用いた調査—

○今西 康雄¹、谷内 颯樹²、児玉 翔³、吉田 寿子²、伊藤 哲生³、河合 稜太²、大久保 直樹³、新谷 歩²
¹大阪公立大学 代謝内分泌病態内科学、²大阪公立大学 医療統計学、³第一三共株式会社

15:30~17:00

シンポジウム2

骨組織形態計測学からCKD-MBDの治療目標を探る

座長 神戸大学大学院医学研究科腎臓内科学 後藤 俊介
医療法人社団全仁会 東都春日部病院 田中 伸哉

SY-2-1 腎性骨症：スペクトラム・コンセプトの変遷と形態学の役割

○風間 順一郎
福島県立医科大学 医学部 腎臓高血圧内科

SY-2-2 慢性腎臓病患者の易骨折性とミネラル代謝異常

○今西 康雄
大阪公立大学大学院 医学研究科 代謝内分泌病態内科学

SY-2-3 尿毒症モデル動物に観られるCKD-MBDの病態

○岩崎 香子
日本文理大学 保健医療学部 保健医療学科

SY-2-4 ヒト生検組織像から考えるCKD-MBDの病態

○田中 伸哉
医療法人社団全仁会 東都春日部病院

日本骨形態計測学会

17:10~18:00

イブニングセミナー2

座長 福島県立医科大学 腎臓高血圧内科 主任教授 風間順一郎

演者 公立学校共済組合 九州中央病院 腎臓内科 部長 満生 浩司

**腸内環境を意識した CKD-MBD 治療戦略
～消化管 pH とリン管理～**

キッセイ薬品工業株式会社

3月9日(日) 第1会場(メインホールCD)

8:40~9:30

モーニングセミナー1

座長 昭和大学藤が丘病院 内科(腎臓) 教授 小岩 文彦

演者 大阪公立大学大学院医学研究科 血管病態制御学 研究教授 庄司 哲雄

新ガイドライン時代のCKD-MBD診療とBeyond GL

小野薬品工業株式会社

9:40~10:20

一般講演3

リン代謝の基礎と臨床

座長 福岡赤十字病院 腎臓内科 徳本 正憲

東京慈恵会医科大学附属病院 山本 裕康

O-3-1 CKD モデルラットにおける高リン血症に対する運動の効果

○小林 優音、丸山 里佳、奥村 陽介、滝川 真輝、磯部 佳奈、遠藤 真子、山本 真由、源平 結愛、中野 真琴、大南 博和、増田 真志、竹谷 豊

徳島大学 大学院医歯薬学研究部 臨床食管理学分野

O-3-2 リン吸着薬のみでのリン管理は炭カル(500)/ランタン(250)換算で4~5錠/日相当が目安になる

○吉田 正美¹、大森 聡²、田畑 祐輔³

¹(医) 明生会 東葉クリニック 東新宿 外科、²(医) 三橋明生病院 外科、³(医) 三橋明生病院 整形外科

O-3-3 生体腎移植直後に重度の低リン血症をきたした症例の検討

○岡本 英久¹、後藤 俊介¹、兵頭 洋二²、三宅 秀明²、藤井 秀毅¹

¹ 神戸大学大学院 医学研究科 腎臓内科学、² 神戸大学大学院 医学研究科 泌尿器科学

O-3-4 血液透析患者におけるリン吸着薬(Pb)の錠数と臨床アウトカムの関連

○吉田 輝龍¹、齋藤 友広²、加藤 憲²、竹崎 俊晶³、加藤 徳介³、溝渕 正英⁴、緒方 浩顕^{1,5}、小岩 文彦⁴、本田 浩一²

¹ 昭和大学横浜市北部病院 内科(腎臓)、² 昭和大学 医学部 腎臓内科、³ 埼友クリニック、

⁴ 昭和大学藤が丘病院 腎臓内科、⁵ 昭和大学 医学部 医学教育学講座

10:30~12:00

シンポジウム3 改訂CKD-MBDガイドラインの特性と展望

座長 昭和大学藤が丘病院 内科（腎臓） 小岩 文彦
名古屋市立大学大学院医学研究科腎臓内科 濱野 高行

SY-3-1 改定版ガイドラインの Ca/P 管理の特徴と可能性

○山田 俊輔
九州大学病院 腎・高血圧・脳血管内科

SY-3-2 PTH 管理

○駒場 大峰
東海大学医学部

SY-3-3 保存期 CKD-MBD

○藤井 直彦¹、藤崎 毅一郎²
¹兵庫県立西宮病院 腎臓内科、²麻生飯塚病院 腎臓内科

SY-3-4 骨代謝の評価と管理

○山本 卓
新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎研究センター 腎・膠原病内科

12:10~13:00

ランチョンセミナー1

座長 名古屋市立大学大学院医学研究科 腎臓内科学 主任教授 濱野 高行

演者 たまき青空病院 名誉院長 福本 誠二

リン代謝と鉄代謝の新たな関連
-CKD-MBD における FGF23 の作用を中心に-

鳥居薬品株式会社

13:10~13:30

評議員会

13:40~15:10

シンポジウム5

女性研究者・若手研究者による最新の知見

座長 松下会あけぼのクリニック

徳島大学大学院医歯薬学研究部 分子栄養学分野

田中 元子

瀬川 博子

SY-5-1 透析患者におけるリン管理

○村島 美穂

近畿大学 腎臓内科

SY-5-2 慢性腎不全における骨病態の顕微学的検索

○長谷川 智香、網塚 憲生

北海道大学 大学院歯学研究院 硬組織微細構造学教室

SY-5-3 腎不全患者における分泌型 Klotho 蛋白の臨床的意義

○中島 章雄

東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科

SY-5-4 悪性腫瘍患者における薬剤性低カルシウム血症と低マグネシウム血症による媒介

○鈴木 皓大¹、村島 美穂²、宮口 祐樹³、春日井 貴久¹、友齊 達也¹、水野 晶紫¹、濱野 高行¹

¹名古屋市立大学、²近畿大学腎臓内科、³名古屋市立大学附属西部医療センター

SY-5-5 CKD-MBD 患者における薬物代謝の変動と PTH の関与

○藤田 一星¹、田中 元子²、深川 雅史³、渡邊 博志¹、丸山 徹⁴

¹熊本大学大学院薬学教育部 医療情報薬学分野、²松下会あけぼのクリニック腎臓内科、

³東海大学医学部腎内分泌代謝内科、⁴熊本大学大学院薬学教育部 薬剤学分野

SY-5-6 腎不全患者におけるグリセロール 3-リン酸の役割の解明

○中川 洋佑

東海大学医学部 内科学系腎内分泌代謝内科学

15:10~15:20

閉会式

3月9日(日) 第2会場(メインホール AB)

9:40~10:20

一般講演4

石灰化とマグネシウムの役割

座長 慶應義塾大学医学部 血液浄化・透析センター 吉田 理
昭和大医学部内科学講座腎臓内科学部門 加藤 憲

O-4-1 骨ミネラル代謝異常を伴わない異所性石灰化における Calciprotein particles の意義

○森兼 捷太、石田 紘一、芦澤 直樹、松林 成也、谷口 哲也
株式会社 富士薬品 第二研究所

O-4-2 血液透析患者における T50 calciprotein crystallization 推算式の開発: Osaka Dialysis Complication Study (ODCS)

○庄司 哲雄^{1,2}、加葉田 大志朗^{3,4}、永倉 優⁵、仲谷 慎也⁵、上殿 英記⁵、永田 友貴^{1,2}、藤井 比佐子⁶、森 克仁⁷、森岡 与明⁵、今西 康雄⁵、繪本 正憲^{2,5,7}

¹大阪公立大学大学院 医学研究科 血管病態制御学、²大阪公立大学大学院 医学研究科 血管科学 TR センター、

³大阪公立大学大学院 医学研究科 医療統計学、⁴神戸大学 数理・データサイエンスセンター、

⁵大阪公立大学大学院 医学研究科 代謝内分泌病態内科学、

⁶大阪公立大学大学院 医学研究科 健康・医療イノベーション学、⁷大阪公立大学大学院 医学研究科 腎臓病態内科学

O-4-3 維持血液透析患者におけるカルシミメティクスと血清マグネシウム濃度の心血管イベントへの関連

○齋藤 友広¹、溝渕 正英²、吉田 輝龍³、加藤 憲¹、加藤 徳介⁴、竹崎 俊晶⁴、井上 永介⁵、緒方 浩顕^{3,6}、小岩 文彦²、本田 浩一¹

¹昭和大医学部 内科学講座 腎臓内科学部門、²昭和大藤が丘病院 内科(腎臓)、

³昭和大横浜市北部病院 内科(腎臓)、⁴埼玉クリニック、⁵昭和大 統括研究推進センター、

⁶昭和大医学部 医学教育学講座

O-4-4 血液透析導入期における冠動脈病変、血管石灰化の検討

○菅原 浩仁¹、吉田 輝龍¹、齋藤 佳範¹、加藤 雅典¹、山本 真寛¹、伊藤 英利¹、緒方 浩顕¹、嶋津 英²、落合 正彦²

¹昭和大横浜市北部病院 内科(腎臓)、²昭和大横浜市北部病院 循環器内科

10:30~12:00

シンポジウム4

様々な診療科から考えるCKD-MBDと心血管疾患

座長 神戸大学医学部附属病院 腎臓内科 藤井 秀毅
九州大学病院 腎疾患治療部 中野 敏昭

SY-4-1 CKD 症例における冠動脈石灰化の特徴と課題を考える

○片岡 有
国立循環器病研究センター心臓血管内科

SY-4-2 当院における慢性透析患者の大動脈弁置換術後遠隔成績の検討

○高橋 宏明
神戸大学大学院医学研究科 外科学講座 心臓血管外科

SY-4-3 CKD-MBD からみた脳血管障害

○鶴屋 和彦
奈良県立医科大学 腎臓内科学

SY-4-4 リン管理と不整脈

○常喜 信彦¹、佐々木 彰³、藤崎 毅一郎²

¹東邦大学医療センター大橋病院腎臓内科、²飯塚病院 腎臓内科、³京都大学医学部附属病院 臨床研究教育・研修部

12:10~13:00

ランチョンセミナー2

座長 九州大学病院 腎疾患治療部 准教授 中野 敏昭

演者 葛西透析クリニック 院長

昭和大学薬学部 臨床薬学講座臨床研究開発学部門 兼任講師 井芹 健

Turning point を迎える透析患者の骨管理
～ PTH 管理の重要性～

株式会社三和化学研究所／キッセイ薬品工業株式会社

13:40~15:10

シンポジウム6

CKD-MBD治療におけるカルシミメティクスとVDRAの役割

座長 藤田医科大学腎臓内科

稲熊 大城

医療法人博友会 友愛クリニック

加藤 仁

SY-6-1 Calcimimetics を中心に治療する CKD-MBD

○谷口 正智

福岡腎臓内科クリニック

SY-6-2 カルシミメティクスの骨に対する効果

○山本 卓

新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎研究センター 腎・膠原病内科

SY-6-3 カルシミメティクスと血管石灰化

○庄司 哲雄^{1,2}、仲谷 慎也³、上殿 英記³、永田 友貴^{1,2}、森岡 与明³、森 克仁⁴、今西 康雄³、繪本 正憲^{2,3,4}

¹大阪公立大学大学院医学研究科 血管病態制御学、²大阪公立大学大学院医学研究科 血管科学 TR センター、

³大阪公立大学大学院医学研究科 腎臓病態内科学、⁴大阪公立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学

SY-6-4 カルシミメティクス使用時における VDRA の役割

○藤井 直彦

兵庫県立西宮病院 腎臓内科

SY-6-5 カルシミメティクス時代における PTx

○岡田 学¹、佐藤 哲彦²、姫野 智紀¹、島本 侑樹¹、長谷川 雄基¹、二村 健太¹、平光 高久¹、鳴海 俊治¹、

渡井 至彦¹、一森 敏弘¹

¹日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 移植内分泌外科、

²日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 糖尿病内分泌内科